

からしだね

日々のみことばの黙想と、主日礼拝の準備に……2026.3.23-3.29

<p>3.23 月曜日</p>	<p>「死の陰の谷を行くときもわたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。」(詩編 23:4) ●死の陰の谷は聖書でたびたび言及される「陰府(シェオル)」を意味します。そこは、復活後の審判の後に特定の人々が行くとされる「地獄」(ゲヘナ)とは異なり、この地上での生を終えたすべての人々が行く場所だと言われています。ここでは死の力が支配し、すべての生は力を奪われます。しかし、イエスさまの十字架はこの「陰府」の力さえも凌駕します。イエスさまを信じる私たちは死の力に打ち勝ち、復活し、永遠に生きるようになります。そこでは、何も恐れる必要はありません。</p>
<p>3.24 火曜日</p>	<p>「わたしは不毛の高原に大河を開き、谷あいの野に泉を湧き出させる。荒れ野を湖とし、渴いた地を水の源とする。」(イザヤ 41:18) ●イスラエルの民が生きたパレスチナの大地は水が少なく、緑の大地はおろか広大な荒野が彼らの前には広がっていました。彼らは、枯れ果てたようにしか見えない荒野に奇跡的に湧き出る水によって生かされていました。彼らにとって神の恵みは湧き水のように思えました。目には見えねども、神の憐れみによって奇跡的に与えられる水。私たちにとっても神の恵みはそのようなものです。当たり前ものではありません。キリストの私たちに向けられた愛によって奇跡的に与えられた宝です。</p>
<p>3.25 水曜日</p>	<p>「これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。」(ガラテヤ 5:22-23) ●ここでは信仰者がキリストの霊によって与えられる実りのリストが挙げられています。この箇所を読むと、クリスチャンである自分がこれらを実践しているのか不安になってきます…ですが、大丈夫です。これらの実りはわたしたちが自分で築き上げなくてはならないものではありません。私たちの内に注入された恵みと、聖霊によって形作られてゆくのです。私たちの内で確かに躍動する聖霊のお働きに信頼して歩んでまいりましょう。</p>

3.26
木曜日

「御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の
上にも。」(マタイ 6:10) ●イエスさまが示してくださった模範的な祈り
は「神の御心」が実現することを望む祈りでした。私たちが祈る時、い
つも私たち自身の願望を祈ってしまいます。それでは独りよがりのような
気もします。ですが、それでよいのです。信仰が与えられた私たちの
心は神の御心と似て行き、一つになってゆくのです。神と自分の心が一
つになってゆく。クリスチャンの「聖化」の歩みとは、そのような恵みによる
成長なのです。

3.27
金曜日

「あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス
御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い
出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。」(使徒
20:35) ●パウロがエフェソ教会の人々との別れの説教の中で語った
最後の言葉がこの言葉でした。福音書にはありませんが、確かにイエ
スさまによって語られた「受けるよりも与える方が幸い」というみことば
は教会を形作るうえでは欠かせない真理です。学校で、会社で、日常
の中でこの御言葉を実践してゆきましょう。

3.28
土曜日

「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召しだされたのです。た
だ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕
えなさい。」(ガラテヤ 5:13) ●パウロは、「自由になりなさい」と言い
ながら、一方では「仕えなさい」と言います。この二つは矛盾しているよ
うに思えます。ですが「キリスト者の自由」はこの二つが共存します。つ
まり、私たちは、自分をキリストから離れさせるもの(罪・死・悪・裁き)か
ら完全に自由になっており、この自由を手に入れるならば、キリストのよ
うに、他者を愛し、他者に仕え、他者をいたわる愛を、喜びと自由の中
で内発的に実行することができるようになるということなのです。

3.29
日曜日

「三時にイエスは大声で叫ばれた。『エロイ、エロイ、レマ、サバクタ
ニ。』これは、『わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか』
という意味である。」(マルコ 15:34) ●マルコは、イエス様の十字架
上での叫びをアラム語でしっかりと福音書に刻みました。この言葉は、
意味においてのみ重要なものではありません。この声そのもの、キリスト
の悲痛な叫びの響きそのものが世界を変える力を持つことを示そうと
したのです。わたしたちもこの叫びを頭で理解するだけでなく、体験し
てゆきたいのです。十字架の苦しみは私たちの生き方を変えるのです。